

2023年度 一般社団法人那覇青年会議所

国際平和交流委員会 泉川 良誠

<p>現 状 分 析</p>	<p>私たち那覇青年会議所は、先輩たちの努力で、JCI台北四海、JCI香港北區の会員たちと25年に渡り友情を深めてきました。2020年にJCIマンダリンとも友好締結を結びましたが、ここ2年は世界的なパンデミックにより対面での交流が制限されました。昨今の世界情勢は、各国のパワーバランスの変化が加速化、複雑化し、これまで国際社会の平和と繁栄を支えてきた国際秩序が厳しい状況にさらされています。</p> <p>このような状況下で、今の日本や沖縄・世界に何が 필요한のか、自ら考え率先して行動し、未来を牽引していく人財を育成するとともに、姉妹JCIとも相互啓発と社会への奉仕を通じて、世界平和と次世代の人財が夢溢れる未来を描ける仕組みを構築する必要があります。</p>								
<p>目指すべき状態</p>	<p>恒久的世界平和の実現を達成するには、国際社会で活躍できる人財の育成と、世界（姉妹JC）と連携し、民間外交を行うことによって世界平和と次世代が夢溢れる未来を描ける仕組みを創出することを目指します。</p> <p>そのためにも海外姉妹JCとの交流事業を今年度こそ、対面での再開を実現させます。そのことにより、2022年度理事長の「沖縄の魅力と地理的優位性を発信する手法としてASPAC（アジアパシフィック国際会議）を沖縄の地へ誘致する」という目標の下地を作りたいと考えます。</p>								
<p>連 携 概 要</p>	<p>那覇JCと各姉妹JC（JCI台北四海、JCI香港北區、JCIマンダリン）とそれぞれ連絡調整会議を行い連携することで、民間外交による相互啓発、信頼を高め合う運動を展開し、世界が安全安心につながるプロジェクトを実施します。</p> <p>現年及び過去の委員長へこれまでの経緯や人的繋がりを確認し、これまでの歴史を確認しながら連携を図ります。JCI台北四海、JCI香港北區、JCIマンダリンの担当委員会と速やかに連絡を取り、連携を図ります。現年及び過去の委員長へこれまでの経緯や人的繋がりを確認し、これまでの歴史を確認しながら連携を図ります。</p>								
<p>S D G s</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="384 1059 655 1093">SDGsのゴールとターゲット番号</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1093 655 1173">10.1</td> <td data-bbox="655 1093 1461 1173">2030年までに、各国の所得下位40%の所得成長率について、国内平均を上回る数値を漸進的に達成し、持続させる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1173 655 1279">10.2</td> <td data-bbox="655 1173 1461 1279">2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="384 1279 655 1375">10.3</td> <td data-bbox="655 1279 1461 1375">差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。</td> </tr> </table>	SDGsのゴールとターゲット番号		10.1	2030年までに、各国の所得下位40%の所得成長率について、国内平均を上回る数値を漸進的に達成し、持続させる。	10.2	2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。	10.3	差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。
SDGsのゴールとターゲット番号									
10.1	2030年までに、各国の所得下位40%の所得成長率について、国内平均を上回る数値を漸進的に達成し、持続させる。								
10.2	2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。								
10.3	差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。								
<p>運 動 手 法</p>	<p>* JCI4か国合同沖縄慰霊の日平和の灯火事業（定例会）          平和につながる国際関係を構築するために、姉妹JCを含む四か国を対面にて一堂に介し、沖縄県民にとっては忘れてはならない日、慰霊の日恒久的世界平和の実現に向けて共に考える事業を実施します。          JCを卒業した先輩が開催している事業『沖縄慰霊の日灯火事業』を、今年度は国際平和交流委員会の事業として拡大を目指します。</p> <p>* JCI4か国合同観光PRスピーチ大会          姉妹JCメンバーと那覇JCメンバーとの文化や習慣のズレ、異言語の問題がある中で、相互理解を深めて、JCの国際的なネットワークを構築します。そして、JCI那覇として各国をリードし、経済の発展のために世界の青年と提携するパイプをつくります。</p> <p>現状の関係性をさらに強固なものとするために、四か国それぞれの国の学生による各地域の文化を踏まえて、英語でご当地の観光の目玉をアピールするスピーチ大会を開催しお互いのことを理解する機会を創出します。</p>								
<p>カ ウ ン タ ー パ ー ト ナ ー</p>	<p>沖縄県、那覇市、琉球新報、沖縄タイムス、OTV、RBC、QAB、ラジオ沖縄、FM沖縄、FM那覇、日本青年会議所、沖縄地区協議会、沖縄ブロック協議会、沖縄県内各経済団体、          'JCI台北四海、JCI香港北區、JCIマンダリン etc</p>								